

情報システム担当者に必要な実務知識を修得する！

ケーススタディから学ぶ！

情報セキュリティへの具体的対応策と 情報リスクマネジメント構築

日時 平成28年11月11日(金) 10:00～17:00
計6時間(1日間)

会場 NHK 名古屋放送センタービル内教室

講師 プリンシプルBCP研究所 所長 **林田 朋之氏**

対象

- 情報システム・システム品質管理・ISMS担当のマネージャー・スタッフの方々

本セミナーのポイント

- 情報セキュリティへの対応策を、ケーススタディを通し学んでいただきます。
- 情報リスクマネジメントについて、演習を含め、具体的に解説いたします。

講義項目

1. 情報を取り巻く環境の変化

- 1.1 ビッグデータとIoTのインパクト
- 1.2 パーソナルデータの利活用
- 1.3 ソーシャルネットワークの利活用
- 1.4 スマートデバイスの取扱い

2. 情報に関する法律とガイドライン

- 2.1 個人情報保護法改正の方向性
- 2.2 個人情報保護委員会とマイナンバー関連ガイドライン
- 2.3 番号法(マイナンバー制度)改正の方向性
- 2.4 不正アクセス防止法
- 2.5 経済産業省サイバーセキュリティ経営ガイドライン
- 2.6 情報関連法規/ガイドラインが企業にもたらす影響

3. 情報リスクマネジメントシステムの具体的手法

- 3.1 基本方針と組織体制
- 3.2 情報リスクの洗い出しと事業影響度分析
- 3.3 情報リスクへの対応の考え方と事例
 - 3.3.1 情報取り扱いルールと事例
 - 3.3.2 情報セキュリティシステムとIT資産管理システム
 - 3.3.3 情報セキュリティ従業員教育研修と事例

4. 再考すべき企業の情報管理への考え方

- 4.1 身の丈にあった情報管理への取り組み
- 4.2 情報関連認証取得の考え方
 - 4.2.1 ISMS(ISO27001)認証
 - 4.2.2 Pマーク等個人情報保護関連認証
 - 4.2.3 その他の認証

演習

各グループで仮想企業の情報リスクマネジメントについて実習して頂きます。予め評価済のチェックシートを利用し、その項目ごとのリスク評価に対する対応策をグループ内討議で実施して頂き、結果を発表して頂きます。

5. 情報セキュリティ事故とケーススタディ

- 5.1 情報端末(PCやスマートデバイス)の紛失
- 5.2 ソーシャルネットワークへの不適切な投稿
- 5.3 不正アクセスによる情報漏えい
- 5.4 パスワード管理違反による情報漏えい
- 5.5 内部犯行による情報漏えい
- 5.6 契約前営業行為上の情報漏えい
- 5.7 メール誤送信による情報漏えい
- 5.8 標的型攻撃による情報漏えい
- 5.9 個人番号取扱いの誤解や詐欺による情報漏えい

6. インシデントへの対応と実務

- 6.1 企業が実施すべきインシデント対応とは
- 6.2 インシデント対応方針
- 6.3 インシデント対応組織の作り方
- 6.4 情報リスクマネジメントとインシデント対応
- 6.5 インシデントが発生したら
 - 6.5.1 ヘルプデスクと関連組織の実務
 - 6.5.2 エスカレーションルールと報告
 - 6.5.3 インシデント管理の実務

ご参加のおすすめ

近年、ビッグデータなど情報を取り巻く環境は激変しております。情報を最大限活用すれば企業経営に大きな恩恵をもたらしますが、一方、取扱いを間違えると経営活動に多大なダメージを与えます。さらに、マイナンバー法・個人情報保護法等の法規関連、また情報漏えいへの対応など、情報セキュリティへの対応はますます重要度を増しており、更なる情報リスクマネジメントの取組みが求められています。本セミナーでは、今後の情報リスクマネジメントを見据え、情報管理の考え方、情報セキュリティ事故そしてインシデントへの対応などについて、実務的にわかりやすく解説させていただきます。

講師紹介

プリンシプルBCP研究所 所長 **林田 朋之 氏**

北海道大学大学院修了後、富士通株式会社入社、その後米シスコシステムズ入社。金融、製造など大企業の大規模・国際ネットワーク、国立大学等のキャンパスネットワーク、自治体ネット、キャリアのネットワークなどのネットワーク構築技術支援およびプロジェクトマネジメントを担当。その後、独立コンサルタントとして、大企業、中堅企業の危機管理、震災および新型インフルエンザのBCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）、IT、情報セキュリティ、クラウド・リスクマネジメントなどのコンサルティング業務を実施。情報処理推進機構によるITスキル標準レベル6として、CIO/CRO/CSO代行業務、BCP講師としてNHKニュースに出演。雑誌記事投稿：日経コミュニケーション・日経BP、学会発表、シンポジウム発表など多数。

日時：平成28年11月11日(金) 10:00～17:00
計6時間(1日間)

会場：NHK名古屋放送センタービル内教室
名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル ※右図参照

参加料： (1名につき)	参加料	消費税等	合計
本会会員	30,000円	2,400円	32,400円
一般	35,000円	2,800円	37,800円

★複数名申込割引について
同一企業(団体)から同じ講座(コース)に2名様以上でご参加の場合は、1名様につき、2,160円割引いたします。下記申込欄にご記入ください。

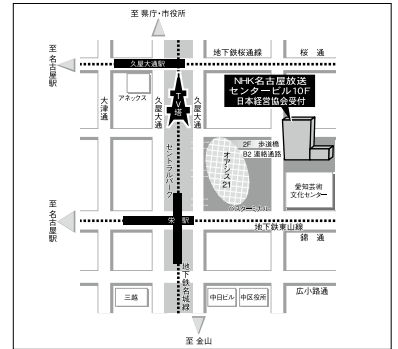
※参加料には、テキスト・資料代が含まれています

申込方法： 下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX等下記へお申込み下さい。
折り返し、参加券と振込口座を記載した請求書をご派遣責任者までお送り致します。

- 参加料(負担金)は、銀行振込にて開催3営業日前までにお納めください。(経理処理の都合で遅れる場合は、事前にご連絡下さい。)
- 開催3日前までに参加券が届かない場合は、恐れ入りますがお電話にてご確認ください。
- 参加のお取り消しにつきましては、必ずご連絡ください。参加者のご都合が悪くなった場合は、代理の方にご出席いただけますようお願い致します。
- 領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。

キャンセルについて 開催日3日前～前日迄30%、開催当日は全額をキャンセル料として申し受けますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ先：一般社団法人 日本経営協会 中部本部 企画研修グループ (担当/坂井・里見) TEL (052) 957-4172 (ダイヤルイン)
〒461-0005 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル10F FAX (052) 952-7418
日本経営協会・中部ホームページ <http://www.noma.or.jp/chubu/>
※お電話の問い合わせ(駐車場含む)は、平日の9:15～17:15にお願いします。



【JR・名鉄・近鉄の名古屋駅より】
地下鉄東山線(4分)栄駅より徒歩5分
地下鉄桜通線(5分)久屋大通駅より徒歩8分
【中部国際空港より】
名鉄(25分)金山駅(乗換)地下鉄名城線(7分)栄駅より徒歩5分
※地下鉄からは、地下街、オアシス21経由でNHKビルに直通

日本経営協会・中部本部 行 FAX (052)952-7418

こちらの面をそのままFAXして下さい。

60007025

「情報セキュリティへの具体的対応策と

情報リスクマネジメント構築」参加申込書 平成 28年 月 日

H28/11.11

★複数名申込割引に該当する場合はチェックして下さい <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 日本経営協会会員 <input type="checkbox"/> 一般 (該当するものにシ印をつけて下さい)	
(フリガナ) 団体名	TEL () -	ご派遣責任者 所属・役職名	
(フリガナ) 所在地	FAX () -	ご氏名 (印)	
No.	参加者(フリガナ)	所属・役職名	担当経験年数
			年 月
			年 月
			年 月
			※メールアドレス
			<通信欄>

〈注〉太わくの中をご記入下さい。電算処理の関係上、フリガナで派遣責任者名は必ずご記入下さい。No欄は記入不要です。

- ※参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②セミナー運営 ③セミナーなど本会事業のご案内
お申込時点で趣旨にご同意いただいたものとさせていただきますので、予めご了承下さい。
なお、③が不要な場合は右記□にチェックしてください。

不要

地球にやさしい再生紙を使用しています。 ©